

2018年9月4日

一般社団法人 日本半導体商社協会 (DAFS)
経営研究委員会

2018年12月11日(火)開催『商社員必修の英文ビジネス電子メールセミナー』開催要領

1. 主催：(一社) 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
2. 開催日時：**2018年12月11日(火) 13:20~17:30 (受付開始 12:50 より)**
3. 会場：**変更しました。**
変更前：~~丸文株式会社 5階会議室~~
~~(地下鉄日比谷線「小伝馬町駅」下車 徒歩2分)~~
↓↓
変更後：投資育成ビル8F 大会議室
(東京都渋谷区渋谷 3-29-22)
4. 時間割/演題/講師・略歴/カリキュラム：
 - ・時間割：注意事項説明・委員長挨拶 13:20~13:30
セミナー 13:30~17:30 (4時間)
 - ・演題：『商社員必修の英文ビジネス電子メールセミナー』
 - ・講師：ナレッジマネジメント ジャパン(株) 代表取締役 牧野 和彦 氏

<略歴>

早稲田大学教育学部英語英文学科卒。米外資系企業においてシニアマネジャーとして多くの実績を収め、1999年、日本人で初めて National Collections & Credit Risk において、800名の専門家を前に英語で講演を行う。2000年、現在の会社を設立し、与信管理のコンサルティング業務や講演活動を行う。自身の外資系企業における経験や海外取引におけるコミュニケーションを基盤とした英文メール研修も行う。早稲田大学の講師としても活動中。2016年より株式会社クレディセイフ企業情報の代表も勤める。

<著書・訳書>

『海外取引の与信管理と債権回収の実務』(日本実業出版社)、『海外取引でよく使われる与信管理の英語』(IBC パブリッシング)、『お金をかけずにマスターするビジネス英語』(中経出版社)、『海外取引の与信管理と債権回収』(税務経理協会)

<メールマガジン>

「ヘッドラインで学ぶビジネスイングリッシュ」、「ニュースで学ぶ与信管理と債権回収」(合計約10,000部)

セミナー内容(カリキュラム)

1. 英文メールの基本的な構成
 2. 英文メールの基本的なフレーズ
 3. 返事がもらえる英文メールの 10 のポイント
 4. 能動態か受動態か？
 5. 日本人の陥りやすい間違い
 6. 微妙なニュアンスの差を知る
 7. 取引の流れに応じた英文メールのサンプルとそのポイント
 - (1) 資料請求 (2) 見積り依頼 (3) 契約条件の交渉 (4) 提案を断る (5) 発注・受注
 - (6) クレームする (7) お詫びとお礼 (8) リマインダーと督促状 (9) 宣伝・売り込み
5. 受講対象者：新入社員及び英文メールの基本をしっかり学びたい方々。
6. 受講料：10,000/1人 当日支払い（領収書発行）
7. 参加申込：別紙参加申込書に記入の上、DAFS 事務局宛てに E-Mail にてお申込み下さい。
人数のみの仮予約も受付けます。
8. 締切日：11月9日（金）または定員(55名)に達し次第締め切ります。

以上